

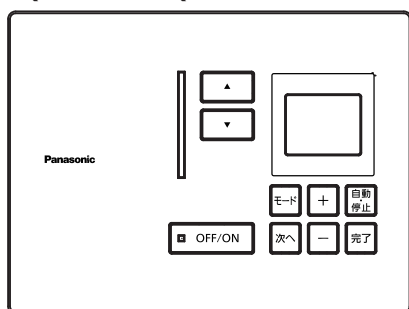
取扱説明書

PiPit⁺ライコン
PiPitライコン
PiPitライコン

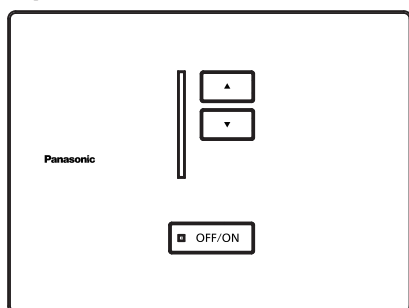
デマンド連動機能付
スケジュール機能付

品番：NQ23151
NQ23112
NQ23111

NQ23151/NQ23112



NQ23111



もくじ

安全上のご注意	2
使用上のご注意	2
各部のなまえとはたらき	3
最初の設定について	3
ペアリング設定のしかた	4
ペアリング設定の確認	6
スケジュール機能について	6
時刻を設定する	7
スケジュールを設定する	7
設定内容を確認する	8
スケジュールを実行する	9
ボタン操作をロックする	9
デマンド動作 削減率を設定する	10
デマンド動作 操作をロックする	10
困ったとき	11
お手入れについて	11
安全点検について	12
仕様	12

NQ23151

お客様へ

このたびはパナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
■この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
特に、「安全上のご注意」(2ページ)を必ずお読みください。

工事店様へ

■この説明書は必ずお客様へお渡しください。

◎上手に使って上手に節電

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

警告

- 本器の分解や改造および修理はしない。
 - 本器に水をかけたり、洗剤などをふきつけたりしない。
 - 電源プラグを抜く時は、必ずプラグ部分を持って抜く。
 - 電源プラグは根元まで確実に差し込む。
 - 電源コードや電源プラグを破損するようなことはしない。
 - ・傷つけない ・加工しない ・熱器具に近づけない
 - ・加工しない ・引っ張らない ・重いものを乗せない
 - ・ねじらない ・束ねない ・ステーブルなどで固定しない
 - ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない。
感電の原因となります。
 - 電源プラグのホコリなどは定期的に取り除く。
プラグにホコリなどがたまり、湿気などで火災の原因となります。
(ホコリがたまったら、電源プラグを抜き乾いた布でふいてください。)
- 以上を守らないと、火災や感電の原因となります。

注意

- 本器には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。必ず点検・交換してください。 ※使用条件は周囲温度35℃、1日10時間使用です。
 - ・1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
 - ・3年に1回は工事店などの専門家による点検をお受けください。点検せずに長時間続けるとまれに火災・感電などに至る場合があります。

使用上のご注意

<動作について>

- 本器は無線通信で照明器具を調光します。
最初にどの照明器具を制御するかの設定（ペアリング設定）の作業を必ず実施してください。
- コントローラとペアリングされた照明器具は、ハンディライコンでの調光操作はできません。
- 停電などで電源供給がなくなっても各種設定内容は消えません。
電源を再投入すると、停電前の状態に戻ります。
- 照明器具との無線通信が遮断された場合、照明器具は状態を保持します。
ただし、照明器具が消灯状態の場合のみ遮断されてから60秒後に100%点灯します。
(無線通信が混雑すると消灯していた器具が点灯する可能性があります。)
- 調光レベルは照明器具の調光範囲内で設定できます。
(範囲外では照明器具の調光下限で点灯します。)
- 複数のコントローラを同時に一斉操作すると無線通信が混雑し、照明器具の動作にバラつきが生じることがあります。

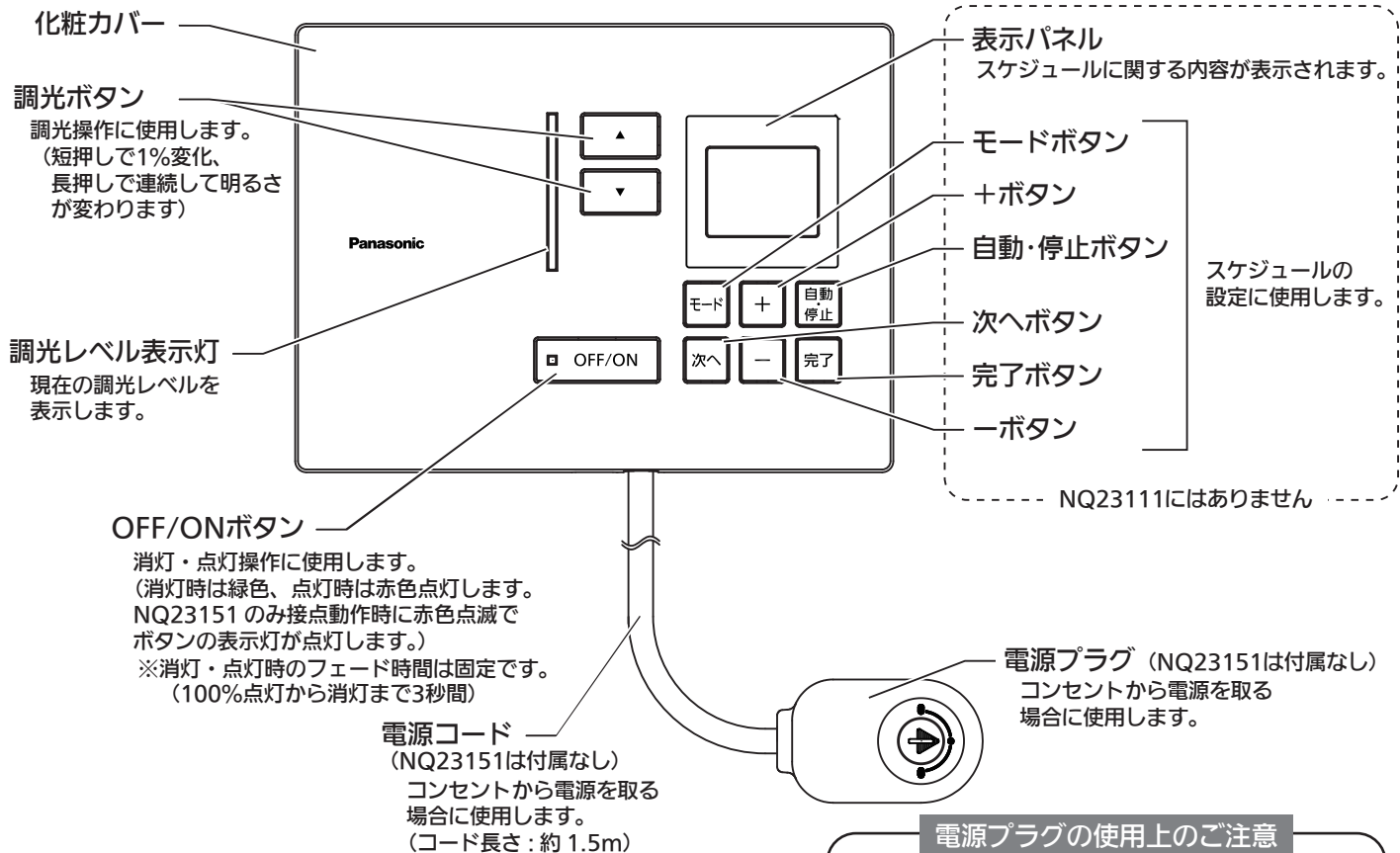
<使用用途について>

- 周囲温度が高い場合、使用時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- 人命並びに社会的に重大な影響を与えることが予測される用途には使用しないでください。
- 送信電波が医療電気機器に与える影響はきわめて少ないものですが、安全管理のため照明器具と本器は医療電気機器から20cm以上離してご使用ください。
- 電波ノイズを受けると、誤動作や動作しない原因になります。

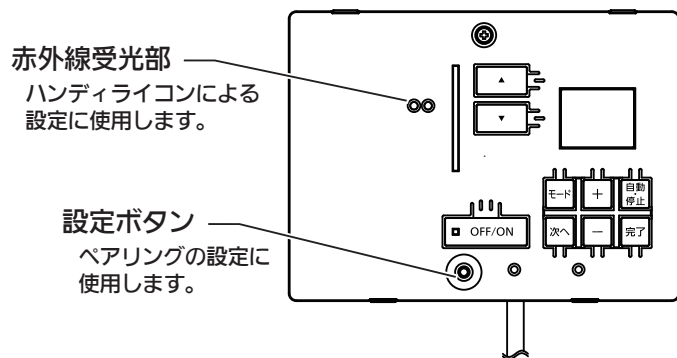
<スケジュール機能について (NQ23151、NQ23112) >

- 時刻精度は月差±15秒以下ですが、定期的に時刻あわせをすることをお勧めします。

各部のなまえとはたらき



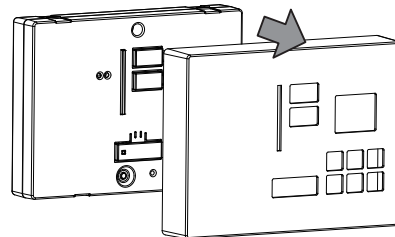
【化粧カバーを外した状態】



電源プラグの使用上のご注意

- 可動範囲を超えて無理に回転させない。
故障の原因となることがあります。
- 抜け止め仕様のコンセントおよび
テーブルタップなどには差し込まない。
取り外せなくなる場合があります。

化粧カバーは左右を持って引っ張ると
外すことができます。

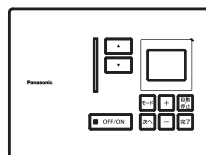


付属品

取付用丸皿タッピンネジ	2本	施工説明書(本書)	1部
固定用小ねじ(予備)	1本	取扱説明書	1部

最初の設定について

最初に、必ずペアリング設定をしてください。
ペアリング設定とは、コントローラがどの照明器具を調光するのか設定することです。
設定には「かんたん設定」と「确实設定」の2つの設定方法があります。



注

ペアリング設定せずに本器を
操作しても、照明器具を調光
することはできません。

ペアリング設定のしかた

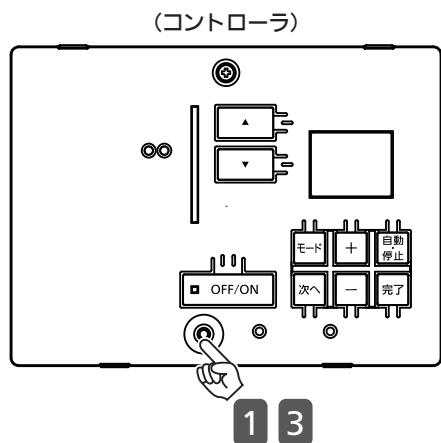
ペアリング設定は、照明器具が工場出荷状態時のみ設定可能です。
一度操作した照明器具は、工場出荷状態にリセットしてから設定してください。



注 コントローラのペアリング設定状態は10分経過すると自動で元の状態に戻ります。
時間内でペアリングできなかった場合は再度設定をやり直してください。

コントローラの電源を入れた状態で実施してください。


かんたん設定

※近くで同時に同じ作業を行っていたり、無線が混信していたりすると正しく設定できない可能性があります。
その場合は一度照明器具を工場出荷状態に戻し、「确实設定」で再設定してください。



1  化粧カバーを外し、『設定ボタン』を長押し（5秒以上）する
 調光レベル表示灯の上3つのLEDが点滅し、ペアリング設定状態となりペアリング信号を送信します。（10分経過すると通常状態に戻ります。）

2 照明器具の電源スイッチをOFFからONにする
ペアリング設定できると照明器具は調光下限で点灯します。
（照明器具は電源ON後60秒間、コントローラから受信できます。）
※照明器具の電源OFF状態を60秒以上保持してから実施してください。

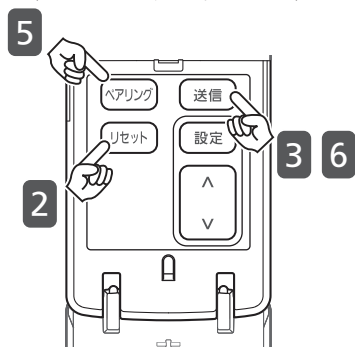
3  『設定ボタン』を長押し（5秒以上）する
調光レベル表示灯の上3つのLEDが点滅しなくなり通常状態に戻ります。

确实設定（NQ23112、NQ23111のみ）


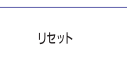
この設定ではPiPitハンディライコンを使用します。
※FSK90950を使用される場合は操作が異なりますのでFSK90950の取扱説明書をご確認ください。


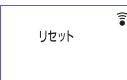
※手順2～3は工場出荷状態に戻す作業です。最初の設定時では省略できます。



（PiPit ハンディライコン）


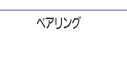


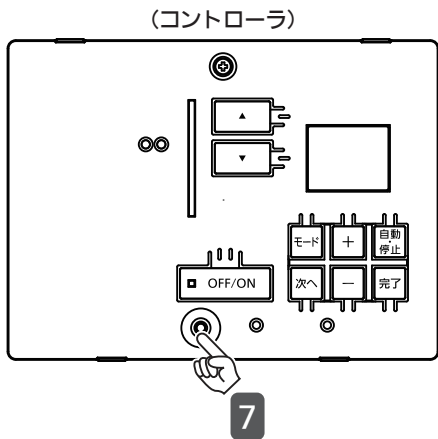
1 照明器具の電源を入れる

2  PiPitハンディライコンのフタをあけ、『リセットボタン』を押す
 液晶画面に「リセット」が表示されます。

3  ペアリングしたい照明器具の受信部に向けてPiPitハンディライコンの『送信ボタン』を押す
 液晶画面に送信中は送信アイコンが表示されます。
工場出荷状態に戻ると照明器具は100%点灯します。

4  コントローラの化粧カバーを外し、『設定ボタン』を長押し（5秒以上）する
 調光レベル表示灯の上3つのLEDが点滅し、ペアリング設定状態となりペアリング信号を送信します。（10分経過すると通常状態に戻ります。）

5  PiPitハンディライコンの『ペアリングボタン』を押す
 液晶画面に「ペアリング」が表示されます。



6

送信

ペアリングしたい照明器具の受信部に向けて『送信ボタン』を押す



液晶画面に送信中は送信アイコンが表示されます。

ペアリング設定できると照明器具は調光下限で点灯します。

7



『設定ボタン』を長押し (5秒以上) する

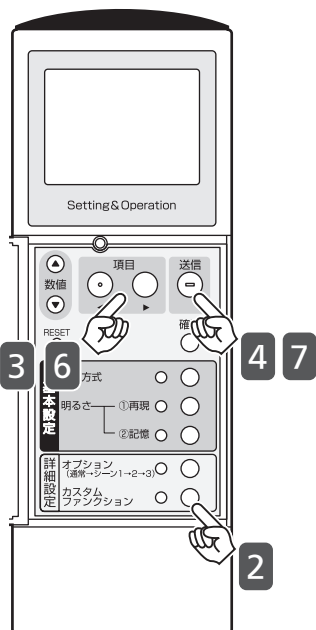
調光レベル表示灯の上3つのLEDが点滅しなくなり通常状態に戻ります。

确实設定

※この設定ではPiPit+ハンディライコンを使用します。

※手順4~5は工場出荷状態に戻す作業です。最初の設定時では省略できます。

(PiPit+ ハンディライコン)



1

照明器具の電源を入れる

2

PiPit+ハンディライコンのフタをあげ、『カスタムファンクションボタン』を押す



スイッチ横のLEDが点灯します

3



『項目ボタン』を押して、液晶画面を「12」にする



液晶画面に「12」が表示されます。

4



ペアリングしたい照明器具の受信部に向けて『送信ボタン』を押す



液晶画面に送信中は送信アイコンが表示されます。

工場出荷状態に戻ると照明器具は100%点灯します。

5



コントローラの化粧カバーを外し、『設定ボタン』を長押し (5秒以上) する



調光レベル表示灯の上3つのLEDが点滅し、ペアリング設定状態となりペアリング信号を送信します。(10分経過すると通常状態に戻ります。)

6



『項目ボタン』を押して、液晶画面を「20」にする



液晶画面に「20」と「SP」が表示されます。

7



ペアリングしたい照明器具の受信部に向けて『送信ボタン』を押す



液晶画面に送信中は送信アイコンが表示されます。

ペアリング設定できると照明器具は調光下限で点灯します。

8



『設定ボタン』を長押し (5秒以上) する

調光レベル表示灯の上3つのLEDが点滅しなくなり通常状態に戻ります。

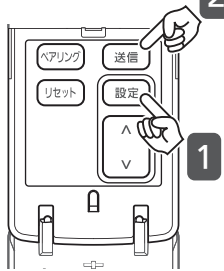
ペアリング設定の確認

コントローラの『OFF/ONボタン』を操作して、ペアリング設定した器具が消灯/点灯できるか確認してください。消灯/点灯できない場合は下記の通信確認を実施し、照明器具の反応に応じた処置を実施してください。

通信確認

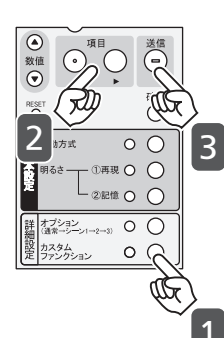
<PiPit+ハンディライコンを使用する場合>

※FSK90950を使用される場合は操作が異なりますのでFSK90950の取扱説明書をご参考ください。



- 1 **設定** PiPit+ハンディライコンのフタをあげ、『設定ボタン』を2回押す
液晶画面に「通信確認」が表示されます。
- 2 **送信** 確認する照明器具の受信部に向けて『送信ボタン』を押す
照明器具が100%点灯し、1分間通信確認状態になります。
- 3 **コントローラの『設定ボタン』を3回押す**
コントローラより3秒間、通信確認の信号が送信されます。

<PiPit+ハンディライコンを使用する場合>



- 1 PiPit+ハンディライコンのフタをあげ、『カスタムファンクションボタン』を押す
スイッチ横のLEDが点灯します
- 2 『項目ボタン』を押して、液晶画面を「18」にする
液晶画面に「18」と「LN」が表示されます。
- 3 確認する照明器具の受信部に向けて『送信ボタン』を押す
照明器具が100%点灯し、1分間通信確認状態になります。
- 4 コントローラの『設定ボタン』を3回押す
コントローラより3秒間、通信確認の信号が送信されます。

【照明器具の反応】

反応しない

3回明暗を繰り返す

電波が照明器具に届いていません。次のどちらかの対応をした後、再度ペアリング設定を実施してください。

- ① 遮蔽物やコントローラの位置を変更し、コントローラと照明器具間の見通しを確保する。
- ② 通信補助器をコントローラと照明器具の見通しの良い位置に追加する。

電波の通信は問題ありませんが、照明器具とのペアリング設定が正常にできていません。确实設定で再度ペアリング設定を実施してください。

スケジュール機能について

[NQ23151、NQ23112]

スケジュール機能は指定時間に照明器具の明るさを自動で切替える機能でA、B、Cの3つまで設定できます。あらかじめA（オフィス用途を想定）、B（店舗用途を想定）にはスケジュールがプリセットされています。用途に応じて、スケジュールを設定し運用してください。

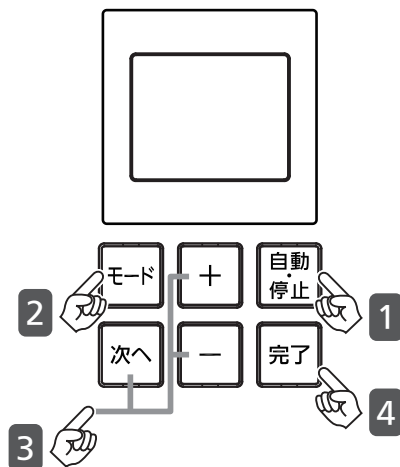
<プリセットスケジュール内容>

※ステップ数は最大32まで設定可能です。

ステップ	スケジュールA（オフィス用）		スケジュールB（店舗用）	
	時刻	調光レベル	時刻	調光レベル
1	6:00	40%	8:00	60%
2	7:00	70%	10:00	100%
3	8:00	100%	21:00	60%
4	12:00	10%	23:00	10%
5	13:00	100%	—	—
6	19:00	90%	—	—
7	20:00	80%	—	—
8	21:00	70%	—	—
9	22:00	10%	—	—

時刻を設定する

【NQ23151、NQ23112】



1 『自動・停止ボタン』を押してスケジュールを停止する

自動
停止



表示パネルに「停止」が表示されます。

※『自動・停止ボタン』を押すごとに「自動」と「停止」が切り替わります。

2 『モードボタン』を3回押して時刻合わせの画面にする

モード



表示パネルに「時計」が表示され時刻表示の時間部分が点滅します。

※『モードボタン』を押すごとに表示パネルの上部が「設定」⇒「確認」⇒「時計」⇒「設定」の順に切り替わります

3 『+、-ボタン』を押して時刻を合わせる

+

-

次へ

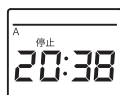


時刻表示部の時間が点滅していると時間を、分が点滅していると分を設定することができます。

『次へボタン』で時間と分の切り替えができます。

4 『完了ボタン』を押して時刻合わせを終了する

完了

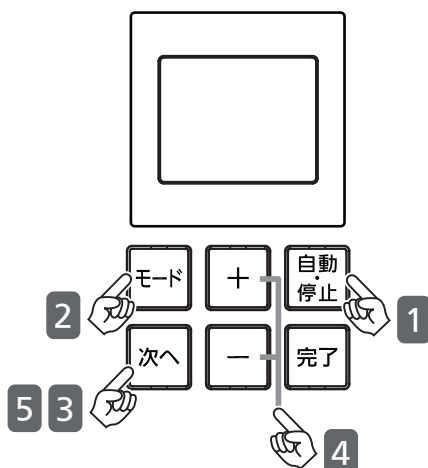


表示パネルに「停止」が表示されます。

※『自動・停止ボタン』を押すごとに「自動」と「停止」が切り替わります。

スケジュールを設定する

【NQ23151、NQ23112】



1 『自動・停止ボタン』を押してスケジュールを停止する

自動
停止

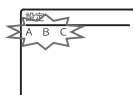


表示パネルに「停止」が表示されます。

※『自動・停止ボタン』を押すごとに「自動」と「停止」が切り替わります。

2 『モードボタン』を1回押して設定画面にする

モード



表示パネルに「設定」が表示され「A」、「B」、「C」が点滅します。

※『モードボタン』を押すごとに表示パネルの上部が「設定」⇒「確認」⇒「時計」⇒「設定」の順に切り替わります

3 『次へボタン』を押す

次へ



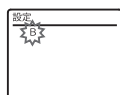
「A」が点滅します。

※これ以降の手順では、『調光ボタン』と『OFF/ONボタン』の操作はできなくなります。

4 『+、-ボタン』で設定するスケジュールを選択する

+

-



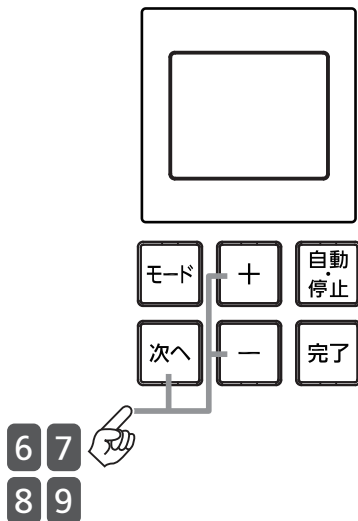
スケジュールBを選ぶ場合は、『+ボタン』を押すと「A」→「B」になります。

5 『次へボタン』を押す

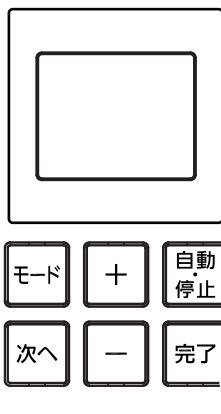
次へ



表示パネルにステップとその設定内容が表示されます。



6
7
8
9



10

6 設定するステップを選択し、『次へボタン』を押す



表示パネルの「ステップ」の数が点滅しています。

<ステップ番号の追加方法>

最後のステップを設定してください。
(設定後に時間通りに並び替えをします。)

<ステップ番号の削除方法>

削除したいステップにし、『モードボタン』を押しながら『-ボタン』を押してください。

7 明かりを切替る時刻(時間)を設定し、『次へボタン』を押す



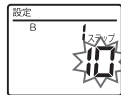
時刻表示の時間の箇所が点滅しています。

8 明かりを切替る時刻(分)を設定し、『次へボタン』を押す



時刻表示の分の箇所が点滅しています。

9 明かりの調光率を設定し、『次へボタン』を押す

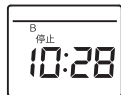


調光率の数字が点滅しています。

※調光率を設定中は、調光レベル表示灯および照明器具の明かりも変わります。
(調光レベルは照明器具の調光率範囲内で設定できます。
範囲外で設定した場合は、下限の明るさで点灯します。)

設定するステップ数だけ6~9の手順を繰り返す

10 『完了ボタン』を押して、スケジュールを確定する

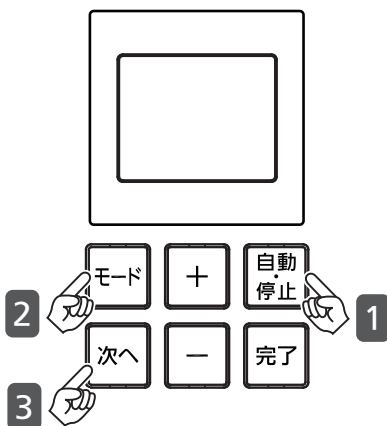


『完了ボタン』を押すと現在の時刻が表示されます。

※『完了ボタン』を押さなければスケジュールが確定されません。また、『自動・停止ボタン』を押すとキャンセルされます。

設定内容を確認する

[NQ23151、NQ23112]



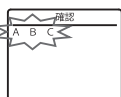
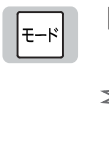
1 『自動・停止ボタン』を押してスケジュールを停止する



表示パネルに「停止」が表示されます。

※『自動・停止ボタン』を押すごとに「自動」と「停止」が切替わります。

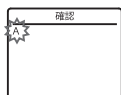
2 『モードボタン』を2回押して確認画面にする



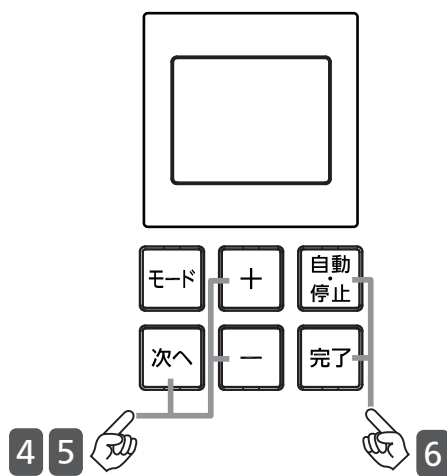
表示パネルに「確認」が表示され「A」、「B」、「C」が点滅します。

※『モードボタン』を押すごとに表示パネルの上部が「設定」⇒「確認」⇒「時計」⇒「設定」の順に切替わります

3 『次へボタン』を押す



「A」が点滅します。



- 4 確認するスケジュールを選択し、『次へボタン』を押す
 スケジュールBを選ぶ場合は、『+ボタン』を押すと「A」→「B」になります。
- 5 『+、-ボタン』で各ステップ内容を確認する
 ステップの選択には『+、-ボタン』を使用します。『次へボタン』を押すことで、切替時間と調光率を確認することができます。
- 6 『自動・停止ボタン』または『完了ボタン』を押して確認を完了する

スケジュールを実行する

【NQ23151、NQ23112】



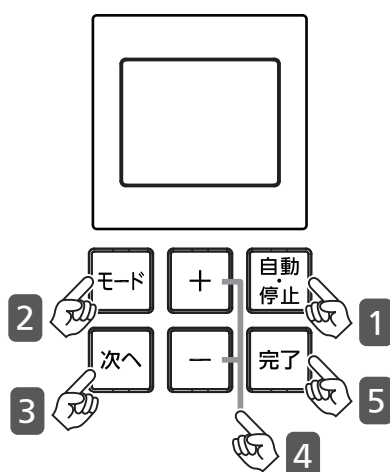
- 1 『自動・停止ボタン』を押し、スケジュールを実行する
 実行中は「自動」と実行中のスケジュールとステップが表示されます。
 ※『自動・停止ボタン』を押すごとに「自動」と「停止」が切り替わります。

注

スケジュール実行中は後押し優先になります。そのため、実行中に『調光ボタン』などで操作するとそちらが優先されます。(次ステップの切替り時間になると、スケジュールに戻ります。)

実行するスケジュールを変更する

【NQ23151、NQ23112】

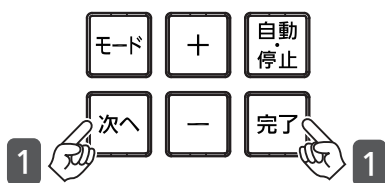


- 1 『自動・停止ボタン』を押してスケジュールを停止する
 表示パネルに「停止」が表示されます。
 ※『自動・停止ボタン』を押すごとに「自動」と「停止」が切り替わります。
- 2 『モードボタン』を1回押して設定画面にする
 表示パネルに「設定」が表示され「A」、「B」、「C」が点滅します。
 ※『モードボタン』を押すごとに表示パネルの上部が「設定」⇒「確認」⇒「時計」⇒「設定」の順に切り替わります
- 3 『次へボタン』を押す
 「A」が点滅します。
 ※これ以降の手順では、『調光ボタン』と『OFF/ONボタン』の操作はできなくなります。
- 4 『+、-ボタン』で実行するスケジュールを選択する
 スケジュールBを選ぶ場合は、『+ボタン』を押すと「A」→「B」になります。
- 5 『完了ボタン』を押す

スケジュールをロックする

【NQ23151、NQ23112】

スケジュールの設定および実行・停止の操作をロックします。



1



『次へボタン』を押しながら『完了ボタン』を同時に長押し（5秒以上）する



設定中のスケジュールと「自動」または「停止」が点滅します。

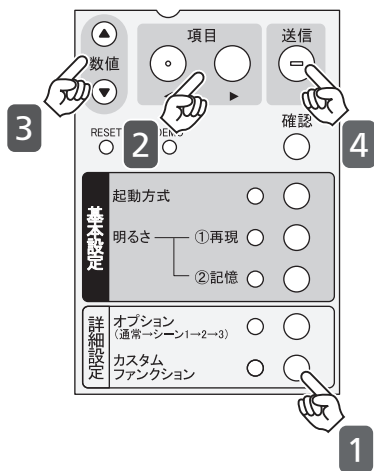
※ロックすると『調光ボタン』と『OFF/ONボタン』以外のボタン操作が無効になります。再度、同じ操作をするとロックが解除されます。

デマンド動作 削減率を設定する

【NQ23151】

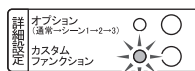
デマンド動作は外部からの信号を受けて強制減光する機能です。ここでは、接点1、2がONされた時の明かりの削減率を設定します。

※PiPit+ハンディライコンを使用します。



1

PiPit+ハンディライコンのフタをあげ、『カスタムファンクションボタン』を押す



スイッチ横のLEDが点灯します

2

『項目ボタン』を押して、接点1を設定する場合は「22」、接点2を設定する場合は「23」にする



液晶画面に「22」または「23」が表示されます。

3

『数値ボタン』を押して、照明器具の明るさの削減率を設定する
削減率の数は下記になります。

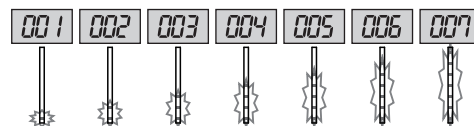


001	10%削減	005	50%削減
002	20%削減	006	60%削減
003	30%削減	007	70%削減
004	40%削減		

4

コントローラの受光部に向けて『送信ボタン』を押す

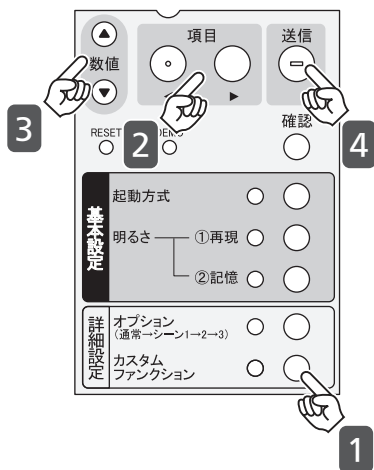
削減率に応じてコントローラの調光レベル表示灯のLEDが3回点滅します。



デマンド動作 操作をロックする

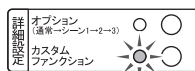
【NQ23151】

接点がONされた時のコントローラの全ての操作をできないようにします。※PiPit+ハンディライコンを使用します。



1

PiPit+ハンディライコンのフタをあげ、『カスタムファンクションボタン』を押す



スイッチ横のLEDが点灯します

2

『項目ボタン』を押して、液晶画面を「17」にする
液晶画面に「17」が表示されます。



3

『数値ボタン』のどちらかを押して、ONにする

※ロックを解除する場合はOFFにしてください。



4

コントローラの受光部に向けて『送信ボタン』を押す



送信内容に応じてコントローラの調光レベル表示灯のLEDが3回点滅します。

困ったとき

こんなとき	考えられる原因	対処方法
調光・消灯操作ができない。	コントローラの電源が入っていない。	コントローラの電源を入れてください。
	照明器具の電源が入っていない。	照明器具の電源を入れてください。
	ペアリング設定が解除されている。	再度ペアリング設定を行ってください。
	遮蔽物がコントローラと照明器具間にあり、電波が届いていない。	遮蔽物の位置を変更するか、通信補助器を追加してください。
一瞬器具が100%点灯する。	瞬時停電があった。	特に問題ありません。
スケジュールがうまく実行されない。	実行操作がされていない。	『自動・停止ボタン』を押して、スケジュールを実行してください。
	他のスケジュールが実行されている。	実行したいスケジュールに設定し、『自動・停止ボタン』を押してください。(P.9)
	時間が正しく設定されていない。	時間を設定してください。
	スケジュールの時間または調光率が正しく設定されていない。	スケジュールの設定を修正してください。(P.7)
	『調光ボタン』での操作を行った。	操作は後押し優先になります。スケジュールを一旦停止した後、再実行してください。
スケジュールのボタン操作ができない。	ロックがかかっている。	『次へボタン』と『完了ボタン』を同時長押しして、ロックを解除してください。(P.10)
設定内容を確認できない。	スケジュールが実行されている。	『自動・停止ボタン』でスケジュールを停止してから確認してください。
時刻が0:00で点滅する。	時刻がリセットされている。	時刻を再設定してください。(P.7)
OFF/ONボタンの表示灯が点滅している 操作ができない。 操作しても100%点灯しない。 デマンド動作時の削減率と明るさが合っていない。	デマンドの接点がONされている。	特に問題ありません。(接点がOFFになると点滅は停止します。)
	デマンドの接点ON時に操作をロックする設定になっている。	接点をOFFにするか、操作ロックの設定を解除してください。(P.10)
	デマンドの接点がONになっている。	設定された削減率までしか点灯しません。
	削減率の設定が間違っている。	削減率を設定し直してください。(P.10)
	ONしている接点が間違っている。	正しい接点をONにしてください。
接点1、2共にONになっている。	接点1、2共にONの場合は接点2が優先されます。一方をOFFにしてください。	

よくある質問

Q1 照明器具を複数ゾーンに分けて、制御することはできますか？

- ゾーン数分のコントローラを用意していただき、ゾーンごとにペアリング設定すれば可能です。

Q2 照明器具に台数制限はありますか？

- 通信距離範囲内でしたら、照明器具の台数に制限はありません。ただし、照明器具には設置条件がありますのでご確認ください。

お手入れについて

- 表面の汚れは、やわらかい布でふきとってください。水や洗剤は使わないでください。水気が機器に浸入すると故障の原因となります。また、色落ち・キズなどの原因となりますので、硬い布やシンナー、ベンジンなどは使わないでください。

安全点検について

下記の「安全チェックシート」の各項目について確認し、該当する場合は点検結果に○を記入してください。

安全点検項目		区分	点検結果
使用状況・環境	使用期間は10年以上である。	B	
	使用期間は15年以上である。	A	
	累積使用時間は40,000時間以上である。	A	
	器具の使用温度が高い(35℃以上)。	B	
	電源電圧が高い。又は低い。(定格の106%以上、94%以下)	B	
	分岐回路の絶縁抵抗は0.2MΩ以下(200V)又は0.1MΩ以下(100V)である。	A	
	取付部に常時震動が加わっている。	B	
	使用場所に水気・湿気が多い。	B	
	使用場所に腐食性ガス(温泉・塩害を含む)・じんあいが多い。	B	
ライコン	本体・パネルなどが手で触れないくらい熱くなる。(60℃以上)	A	
	本体・パネルなどに変形・ひび割れなどがある。	A	
	めっき面などにふくれ・剥離などがある。又は錆が出ている。	B	
	焦げ臭いにおいがする。	A	
	可動部分(電源スイッチ・ボリュームなど)の動きが鈍い。	B	
	電線に著しい変色・ひび割れなどがある。	A	
	電線接続部(端子台など)が接触不良(緩み、抜けなど)を起こしている。	A	

【点検結果の判定】

- ・区分Aの○印が1個でもあれば、調査したライコンは劣化状態が相当進行し、危険な状態に至っていることがあります。速やかに交換してください。
- ・区分Bの○印が1個でもあれば、調査したライコンは劣化状態が進行していることがあります。交換又は継続的に点検してください。

上記項目以外でも不具合があれば、工事店などの専門家にご相談ください。

仕様

	NQ23151	NQ23112	NQ23111
定格電圧	AC100~242V (50/60Hz)	AC100~242V (50/60Hz)	(付属電源コードは100V専用)
使用温度範囲	0~35℃ (結露なきこと)		
制御方式	無線通信 (中心周波数: 927.2MHz)		
通信距離	見通し距離20m		
適合負荷	当社製PiPit調光シリーズLED器具 (起動方式: RZ)		
適合リモコン	PiPit+ハンディライコン	PiPit/ハンディライコン、PiPit+ハンディライコン	
時計精度	月差±15秒以内		
スケジュール	24時間方式 3スケジュール (A、B、C)		
接点方式	無電圧a接点 2系統 (DC12V、10mA、ON/OFF)		

無線通信 (電波) に関して

- ・本品には認証済みの920MHz帯特定小電力無線設備を内蔵しています。
- ・この920MHz帯特定小電力無線設備は分解・改造することは法律で禁じられています。
- ・この920MHz帯特定小電力無線設備は外国の電波法には適合していません。日本国内でのみ使用可能です。

パナソニック株式会社 ライティング機器ビジネスユニット 〒571-8686 大阪府門真市門真 1048

お問い合わせ先 パナソニック照明と住まいの設備・建材お客様ご相談センター
0120-878-709 (フリーダイヤル) 0120-872-460 (FAX)